

新型コロナウイルス感染症に関する自由意見

新型コロナウイルス感染症の感染拡大について、生活への影響や不安に思うことを自由に書いてもらったところ、540 人から意見が寄せられた。その中の一部の意見について、趣旨を損なわないようにまとめた上で、掲載する。

主な意見・要望の内訳（単位＝件）

内 容	件数
1 新型コロナウイルス感染・感染拡大への不安	38
2 外出・活動自粛による不安、影響	29
3 経済面の不安、影響	54
4 飲食店への制限、支援	29
5 医療機関、介護施設等の利用の不安、要望	71
6 ワクチン、PCR検査体制について	86
7 妊娠時の不安、子供への影響	24
8 テレワークへの取組、多様な働き方の推進	20
9 情報提供について	43
10 世間への思い	28
11 行政への意見	218
12 新型コロナウイルス終息の願い	15
13 不安・影響はあまりない	6
14 その他	79
合 計	740

※ お一人で複数の内容についてご意見・要望を記入いただいた場合は内容ごとに集計している。

1 新型コロナウイルス感染・感染拡大への不安

- ・ 基礎疾患があり、重篤になる可能性が高いと思われるので、感染を怖く感じている。万一患った時に入院ができるのかがわからないので不安に感じているし、高齢の母と一緒に暮らしているので心配である。（60代・女性）
- ・ 最近新型コロナウイルスに新規感染者が激減しているが、その原因がわからない。新たな流行がとても不安だ。未知のウイルスであり、過去にとってきた対策（人流抑制、飲食店への自粛要請など）が本当に有効だったのかを検証して、そのエビデンスを基に新たな対策をするように改善すべきだ。特定の業種にかたよった対策は慎重に、どうしても必要ならば十分な補償をすべきだ。（60代・男性）
- ・ 一人暮らしなので、コロナに感染した場合頼れる人がいない。（20代・女性）

- ・ ワクチンを2回接種した後、マスクを外している人が増えているように思う。実際のところ、マスクの着用は、いつまでするのがよいのか？外している人に対して不安になる。感染者数が減ったとはいえコロナがなくなったわけではないので、どうなったらマスクを外して生活できるのかを教えてほしい。(50代・女性)

2 外出・活動自粛による不安、影響

- ・ 外出しないことに慣れてしまい。必要でなければ外出しなくなり、運動不足で体力低下がある。筋力はある程度は家の中の運動でも維持できているが、心肺機能はかなり低下している。外出時自転車をこぐと、以前と比べて呼吸が荒くなっている。身体の柔軟性も落ちている。(60代・男性)
- ・ 大学がオンライン授業となり約2年経った。気持ちの面で以前より情緒が安定しないなと感じる日が増えたり、体力の衰えを顕著に感じたりする。感染拡大を防ぐためにオンライン授業は大切だとは思いますが、心のケアをより拡充するよう大学へ働きかけたり、新卒採用をされる企業に対し、現在の大学生たちの実情を伝えたりする機会などがあるとより生きやすく、不安が減ると思う。(20代・女性)
- ・ コロナ禍まっただ中での妊娠、出産を経験し、コロナが落ち着いてはいるが、まわりとの交流がなくママ友などリアルな悩みを共有できる人がいないことが不安だ。(30代・女性)

3 経済面の不安、影響

- ・ 新型コロナで勤め先から解雇となり、この一年半は仕事の中々見つからず生活に困っている。国の資金貸付制度を増やすか、給付金があれば助かる。生活保護を受けたいが、親族に知られるのは辛いので受けることが出来ない。(60代・女性)
- ・ 仕事への影響が大きく、業績悪化と賃金の減少が比例している状況が長く続き不安が消えない。コロナ対策の給付金等の経済支援がまだ必要である。(60代・男性)
- ・ 息子達が自営業をしているが、コロナで仕事が減少、給料が何か月ももらえず本当に困っている。夫の後をついで仕事をしてきたが、なかなか大変である。どうか普通の生活が出来るよう、弱い立場の人も守っていただきたい。(80代・女性)

4 飲食店への制限、支援

- ・ 感染拡大は怖いですが、万全な対策を行っていく前提での生活水準の維持も必要だと思う。飲食店に対するハードルももう少し下げないと、生活ができなくなり生活困窮者が増えるだけである。(50代・男性)
- ・ 新型コロナウイルス感染の流行前と現在の生活は全く同様だが、外食業界の営業時間が短くなり、仕事が終わった後に夕食が採れず、コンビニ弁当となることが多々あり、不満を感じる。(60代・男性)
- ・ 都の要請を守らない店も多いが、要請があった方が守る店、企業はあるし、自分も職場で言い易いと思う。感染拡大の兆しがある時は迅速な対応があると良い(40代・女性)。

5 医療機関、介護施設等の利用の不安、要望

- ・ 複数人が同居している家庭での隔離には限界がある。なるべく多くの人が入院できるよう、病床数の確保等を整えていただきたい。(50代・女性)
- ・ ウイルス闘争は今後も続く。一般医療とコロナ医療をどう切り分けるか大きな問題である。人命を守ることは一般の病気もコロナもともに大切である。大病院、開業医、その他医療従事者をどう有効に活用していくか、従来の常識にとらわれず、御検討ください。(80代・男性)

6 ワクチン・PCR検査体制について

- ・ 持病があり、ワクチン接種をしていない。ワクチン接種は任意といいながら、はるかに強制力を持ち、生きづらい。コロナのワクチン接種により差別化が広がっているのを感じる。(50代・女性)
- ・ コロナ感染対策は”やる事が当たり前”であると認識している。なぜワクチンを”打たない”人の権利を考慮せよと言う人達が大勢いるのか。差別ではなく、区別する方針を取っても良いのではないかと。(30代・女性)
- ・ 2年ぶりに帰省した前後、仕事で対面の打ち合わせした時など、自費で郵送対応のPCR検査をしているが、出費がかさんでいる。「いつでもどこでも無料でPCR検査」できれば、安心できる。(50代・女性)
- ・ PCR検査、ワクチン等、全ての点で後手にまわっている。国、都、区等の連携が悪いように思われる。責任の所在が分からず、いざという時はどうすべきか非常に不安だった。(80代・女性)

7 妊娠時の不安・子供への影響

- ・ 出産を控えているので、感染拡大は母子の健康に関して本当に不安だった。出産後、子どもが感染してしまったらどうしようという気持ちは常にある。(20代・女性)
- ・ 子どもたちの貴重な時間が奪われ、かわいそうに思う。数々の行事がなくなり、楽しみや思い出がなくなってしまった。心のケアをしてあげて下さい。(40代・女性)
- ・ 女性やシングル家庭、子供への支援を行って欲しい。将来のある子供たちが、食べられないとか学校をやめなければならない事はあってはならないと思う。私たち高齢者の支援もして欲しいですが、やはり子供たちへの未来を守って欲しい。(60代・女性)

8 テレワーク・多様な働き方の推進

- ・ 仕事柄外回りの為、緊急事態宣言中もほとんど通常と変わらなかった。大手の会社ではリモートワークが進んでいるが中小企業では、なかなかリモートワークができない。感染リスクも上がる。都で中小企業にリモートワークができるような支援をもっとしてほしい。(20代・女性)
- ・ 感染拡大時は会社へ出社できなくなるため、在宅ワーク中心となる。家では乳児、小学生がいるためたまに仕事がしづらく配偶者に気をつかわせることになる。有料でも良いので最寄り駅にワークスペースがもっとあれば良いと思う。在宅ワークが続くと家族全員が少しずつストレスになり雰囲気が悪くなるのが不安だ。(30代・男性)
- ・ コロナ流行以前に推し進めていた働き方の多様性(テレワークや時差出勤等)に関する取り組みが、コロナの収束と同時に逆行してしまわないかと心配している。いずれ収束についてメッセージを発する際は、この点について誤った印象を持たれないよう留意いただきたい。(30代・女性)

9 情報提供について

- ・ コロナウイルスに関する情報の正確性が分からない。全く逆の情報があり、何を信じたら良いか分からない。(40代・男性)
- ・ 緊急事態宣言の解除後、若者を中心に、仕事後に飲み歩く人を見ると、コロナに対しての関心がうすれてきているように思う。一人一人の気の緩みがまたコロナの数が増える原因にもなると思う。もっと若者に対して、コロナの危険性を訴えてもらいたい。(30代・男性)※
- ・ コロナウイルスとの共存をベースとした前向きな取組を発信して欲しい。(60代・男性)※

10 世間への思い

- ・ 公共の交通機関では、マスクの義務化をしてほしい。バス、電車でマスクなしの人に出会ってしまう。(40代・女性)
- ・ 年齢や性別に関係なく、コロナに対する意識の違いが大きく深いことに悩まされることが多々ある。皆が皆、同じ方向に進むことは難しいとは承知の上で、意識改革をうながせるような指導者が現れてくれたなら・・・と願ってやまない。(50代・女性)

11 行政への意見

- ・ 感染防止のルールを守らない人や店舗を厳しく罰してほしい。(60代・男性)
- ・ 色々なことに制限がかかって、生活がかわってきているが東京都として、よく頑張ってくれていると思う。これからは、新型コロナと共存していくのが通常になっていくのだと思うので、with コロナの中で、より良い生活が送れるような政策を検討してほしい。そのための税金だったら、しっかり使してほしい。(50代・女性)
- ・ 医療体制の拡充：医療従事者、治療に必要な機器、場所等、病院（法人）が拡充しやすくなる施策をうって下さい。科学的根拠に基づいて、事業の制限をかけて下さい。飲食店への制限（時短など）は感染防止につながっているように思えない。人が密集しないように動くような対策をするべきと思う。(40代・女性)
- ・ 行先が見えない状況で、都民の声を幅広く聞いてもらえる機関を作ってもらいたい。都庁や行政が遠い存在に感じる。決まり事一辺倒ではなく、これからは柔軟な対応も期待したい。今は不安な事だらけ、少しでも早く元通りの生活に戻りたい。(40代・男性)
- ・ コロナ対策とはいえ、無駄な財政支出は抑えていただきたい。(30代・男性)

12 コロナウイルス終息の願い

- ・ 持病があるので外出し辛かったのが、コロナのせいで全たく外出しなくなった。早く以前のようにイベントに気軽に参加できる世の中に戻ってほしい。(30代・女性)
- ・ 今は感染者が確実に減ってきて嬉しいことだと思うが、終息した訳ではないので、これから又、増えてくることもあったらと思うと落ち着かない。早々本当の意味で安心して生活できる様になって欲しい。(60代・女性)

13 不安・影響はあまりない

- ・ ワクチン注射は拒否しているが、自分でも気を付けているのでとりたてて不安はない。(60代・女性)
- ・ マスコミの情報にも気になる点は多くあるが、自分としてはそれ程までに実感として湧かない事があり、普通の生活をしている。従って、不安に思う事もそれ程には感じていない。(70代・女性)

14 その他

- ・ 昭和12年生まれ、物の無い時代を不安とも不思議とも感じず過ごしました。コロナ禍我慢、外食、旅行等何も苦になりません。国、都、区、町の皆様の助言と教えをまもり、新しいこれからの生活ができますように望んでおります。医療関係者に心から感謝しております。(80代・男性)
- ・ 聴覚障害者はマスクを付けたままだとコミュニケーションが難しい方が多いですが、コロナになりマスクが当たり前になったので不便を感じています。また在宅勤務が増え、オンラインとは違う難しさを感じています。おなじ障害を持つ人がどう対応するのか知らないで、健常者への理解促進だけでなく当事者も情報を得る手段が必要です。(30代・女性)
- ・ 行政の職員方は東京オリンピックパラリンピックを抱えながらも感染対策に努めていただき、感謝しております。情報に溢れる現代社会ではありますが、東京都には今まで以上に感染症に関する正しい情報の発信と施策についての広報を行い、都民を導いて頂くことを期待しております。(20代)